



ロシアの超中央集権を^{わら}嗤える？日本でも・・・

一九七〇年代、プラント建設会社勤務の私は旧ソ連でクリミア大橋の東、クラスノダールの製油所に一つのユニットを追加する工事現場に赴任した。朝の些細な工事の進め方が(日本なら係長クラスが即決できる事)について会議の時、製油所の技師長が来るまで何も決まらないのです。思わず嫌味を一言。

半年後、モスクワの石油化学工業省との会議で課長が私を睨みながら「こんな事を云った奴が」と嫌味をそのまま読み上げ。超中央集権だから、末端の些細な事も中央が差配。

宮殿への追及をかわす

それがソ連崩壊後も続いていたのだ。クラスノダールの南に二千億円かけプーチン宮殿を作った事をナワリヌイ氏が暴露。そこでプーチンは目的を国民に説明する事も無く戦争を開始。そしてプーチン宮殿から国民の目は反らされた。プーチンはクリミア大橋の防衛態勢まで口を出していたらしい。爆発したのは海上ドローンかトラックか、今も未報告。彼が差配した防衛態勢が機能しなかったとは云えないから？

ロシアの事と^{わら}嗤える？

日本ではどうだろう。内閣人事局が官僚の人事を握ってから、各省庁は、すべて首相待ちになっているようだ。自民の議員も生気がない。議員候補は総裁の首相が決めるから、逆らえない。岸田氏の表情がだんだんプーチンに似て見えないか？

あなたはどう思われますか？

芝浦西運河 - 渚橋から

東京都港区芝浦3丁目
二〇二二年十月



2022.10.9 徹

田町駅から東京湾の方向、東に向かって歩くと、渚橋がある。そのたもとから芝浦西運河の夕凧橋の方を見ると船溜まり。

手前には「警戒船」という看板を掲げた船が何隻も停泊していた。スケッチの用意をしている内に、警戒船はどこかに行ってしまった。

岸には屋形船。新型コロナウイルスの規制が緩められ、これから商売しようという所だろうか。

遊漁船、モーターボート、工用の小さなタグボートなどが多数係留されている所もある。そこに黄色く塗った「東京ウォータータクシー」が現れた。

横浜の水上添花シーは沖に停泊した貨物船と港の往来用だが、これは観光や田町からお台場への交通等に利用できる。

